

「専門高校 P o w e r U p プロジェクト」推進事業
～「専門力 U p プロジェクト」 報告書～

| | | | | | |
|-----|-------|---|-------------|---|---------|
| 教育局 | オホーツク | 教 | 北海道北見商業高等学校 | 区 | 高度な資格取得 |
|-----|-------|---|-------------|---|---------|

| | |
|------------------------|--|
| 1 研究テーマ | <p style="text-align: center;">テーマ「情報処理教育にかかわる専門的な知識や技術の習得」 ～チャレンジ精神の育成を目指した教育課程の編成に向けて～</p> |
| 2 今年度の具体的な活動内容 | <p>平成 2 2 年 4 月 3 年生を対象に、授業内において I T パス学習開始（2 年次からの継続） 5 月 Web を利用した I T パスポート試験対応問題開始（専門学校との連携） 1 0 月 3 年生 I T パスポート試験受験（1 名合格） 平成 2 3 年 2 月～3 月 1・2 年生対象に I T パスポート試験セミナー開催 " 近隣大学との連携の打ち合わせ、及び協力大学の選定</p> |
| 3 活動内容に対する成果と課題 | <p>(1) 指導内容や指導方法の工夫について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3 年対象の授業において、I T パスポート試験に係る範囲の学習を通して、ストラテジ系・マネジメント系・テクノロジー系の知識の習得と定着が図られた。 ○ 長期休業中や放課後等を利用した講習会の実施、I T パスポート試験範囲の学習と問題演習を行い、習得と定着を図った。 ○ 専門学校と連携し、W e b 上で問題に取り組ませた。生徒は不得意分野を把握し、その不得意分野の学習に集中して取り組み、習得を図った。 ● 平成 2 3 年度までに教科指導法及び指導体制を確立する必要がある。 <p>(2) 大学・試験研究機関・企業等との連携による専門性の高い知識・技術の習得について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 専門学校の出張講師講習会により生徒の受験意識向上と生徒の状況把握ができた。 ○ 専門学校提供による W e b を利用した学習により時間と場所に関係なく学習することができた。 ● 大学との連携については、コンピュータの仕組・ネットワークの活用・クラウドコンピューティング等具体的にし、基本的な事柄や新しい I C T 技術目的を明確にして、講師等派遣を含め取り組む必要がある。 ● 学校パンフレット等を利用して本校の取組を、企業や周辺大学・中学校に周知していく必要がある。 <p>(3) 事業実施による生徒の学習意欲や職業意識等の変容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種検定において、特に、上位級を取得する意識が高まった。 <p>(4) その他 特になし</p> |
| 4 最終年度における課題解決に向けた取組方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣大学と連携し、受験者数や合格率の向上を図る。 ・ 専門学校等のセミナーや W e b 利用を継続するとともに、講師による集中講義を開催する。 ・ 企業や中学校に対する本校の取組と周知を図る。 ・ 校内指導体制の確立を図る。 |